



東京医科歯科大学病院

医師臨床研修ガイド2025

医療をリードし、社会に貢献する
「アカデミックドクター」を養成します



東京医科歯科大学病院

TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY HOSPITAL

※ 2024年10月1日より東京科学大学病院に名称を変更します

研修基本理念

患者の痛みを理解できる国際水準の医療人の養成

研修目標

高度医療人に求められる幅広い臨床能力の基礎を固める

研修目的

将来日本の医療をリードし、社会に貢献する医師となるために、本プログラムは「社会の医療を構成する一次、二次、三次医療に求められる基本的臨床能力を身につける」ことを目標とします。教育手法に精通した熱意のある指導医、豊富な症例、整備された研修環境の下で、医師としての人格を涵養し、医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切かつ全人的に対応できる幅広い基本的な臨床能力（態度・技能・知識）を習得すると同時に、本学の教育目標である「アカデミックドクターの養成」を目指します。



充実した研修環境のなかで、多くの仲間とともに、 臨床と研究の二刀流で社会貢献する 「アカデミックドクター」を目指しましょう

医学生の皆さん、このパンフレットに目を通していただきありがとうございます。臨床研修は、医師としての第一歩を踏み出す大切な場ですから、ご自身の医師としての将来を考え、どのような臨床研修プログラムを選択すべきか迷われている方は少なくないように思います。

私たちのプログラムの特徴は、第一に「たすきがけ研修」を長く採用していることで、大学病院のプログラム、市中病院のプログラム、それぞれの強みを統合したものになっています。大学病院では、多数の指導医のもと、臨床医としてのしっかりとした物の考え方や勉強の仕方を学ぶとともに、より専門性の高い分野についても知識や技術を深めることができます。協力病院では、多くの common disease を診療しながら最前線に立つ医師としての基本を学べるようになっています。

当院のプログラムは、定員が多い＝仲間が多いことも特徴です。互いに切磋琢磨し励ましあって成長でき、その中で医師として一生の友人を得られることになるでしょう。

皆さんには、臨床と研究の二刀流で社会貢献する「アカデミックドクター」を目指していただけたらと期待しています。現在は多様性の時代ですので、さまざまな価値観をもつ方に応募いただけたらと思います。当院のプログラムの充実した研修環境は、毎年研修医の皆さんに評価され、高いマッチ率を維持していることに表れています。皆さんの参加を心からお待ちしております。

教育体制・設備の向上を常に目指し、 社会で求められる医師への 成長をサポートします

私たちは臨床研修において、高度な医療を提供する大学病院の教育マインドを持つ多くの指導医たちのもと、丁寧に深く診る診療姿勢を通して思考力と応用力を鍛えることと、また日本の医療を構成する一次から三次までの医療機関で多様な経験をすることが、基本的臨床能力の獲得と、将来の大きな成長のためにはとても重要である、と一貫して考えてきました。

現代は、新しい感染症の拡大やAI、IoT、データヘルスの急速な技術革新によって高度に変化する医療環境において、医師として患者さんに寄り添いながら、社会に対して何が貢献できるか自ら考え、柔軟に対応し、行動する力が必要です。また今までの価値観とは異なる多様性も求められています。これらの点は、私たちの多彩な経験ができる研修プログラム内容と、最新のレクチャーやトレーニング、また多くの熱意のある指導医や研修医の仲間との切磋琢磨できる環境において、十分に力をつけることが可能です。

さらに研修センターでは常に研修医や指導医の意見を反映し、研修医自身の安全を守ることを第一に考えながら、研修プログラムの改善と運営を行っています。日本の中心である東京での研修は、厳しさと穏やかさの両面を持ちますが、私たちは最後までしっかりと皆さんの研修をサポートしていきます。医師への大事な第一歩を、本学の臨床研修プログラムで始めませんか。ぜひお待ちしております。

東京医科歯科大学病院
藤井 靖久 病院長

総合教育研修センター
岡田 英理子 センター長

■ プログラムⅠ

定員 36 名

1 年目	大学病院			
	内科	救急	外科	麻酔科/ 自由選択科
	24週	8週	8週	8週

2 年目	協力病院、大学病院					
	救急	産婦	精神	小児	地域	自由選択科
	4週	4週	4週	4週	4週	一般外来 28週

外科重点コース 《外科を専攻する研修医のためのコース》

定員 3 名

1 年目	大学病院			
	内科	救急	外科	麻酔科/ 自由選択科
	24週	8週	8週	8週

2 年目	外科重点協力病院						
	救急	産婦	精神	小児	地域	外科	自由 選択科
	4週	4週	4週	4週	4週	一般外来 24週	4週

- 外科重点コースでは、2年目に外科重点協力病院にて24週間の外科研修が可能
- 2年目協力病院は、外科重点コース責任者と面談のうえ、以下の協力病院から決定する
協力病院:土浦協同病院、豊島病院、草加市立病院

■ プログラムⅡ

定員 54 名

1 年目	協力病院			
	内科	救急	外科	麻酔科/ 自由選択科
	一般外来 24週	8週	8週	一般外来 8週

2 年目	大学病院					
	救急	産婦	精神	小児	地域	自由選択科
	4週	4週	4週	4週	4週	一般外来 28週

■ 基礎研究医プログラム

定員 2 名

1 年目	大学病院			
	内科	救急	外科	麻酔科/ 自由選択科
	24週	8週	8週	8週

2 年目	大学病院					
	救急/ 麻酔科	産婦	精神	小児	地域	自由 選択科
	4週	4週	4週	4週	4週	一般外来 4週-8週

- 臨床研修の到達目標の達成度を評価し、達成していれば基礎研究ローテーションを実施する
- 臨床診療科ローテーション期間の時間外等においては、ローテーションを行う臨床診療科の許可があった場合、本学大学院基礎系研究室にて基礎研究に従事する
- 募集・採用等、詳細はHPをご確認ください



■ 周産期（小児・産婦人科）プログラム

定員 4 名

1 年 目	大学病院、周産期重点協力病院				2 年 目	大学病院、周産期重点協力病院（短期）				
	内科	救急	外科/ 小児・NICU /産婦	小児/産婦 関連診療科		救急	精神	小児/ 産婦	地域	小児/産婦 関連診療科 (1年次に外科8週未修了の場合は必修)
	一般外来 24週	8週	一般外来 8週	8週		4週	4週	4週	4週	一般外来 32週

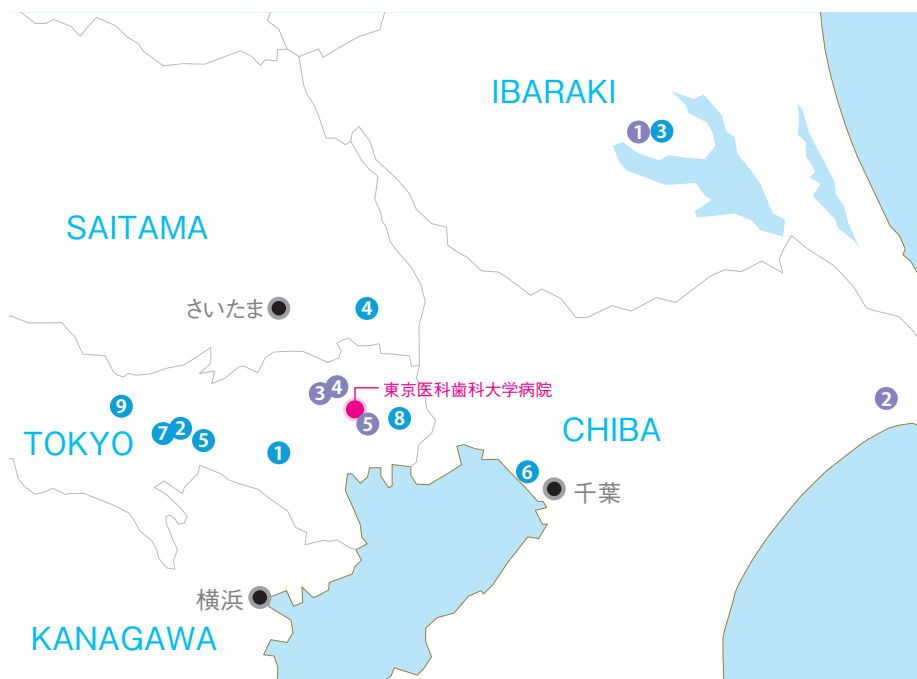
産婦人科重点

産婦	関連診療科
4週（～16週）	16週（～28週）

小児科重点

血液	循環器	内分泌	神経	腎/ 膠原病	新生児 NICU	関連 診療科
4週	4週	4週	4週	4週	4週	8週

- ステップアップ研修として、2年目に周産期重点協力病院をローテート可能
- 2年目の必修期間は、1年目の選択状況により変動の可能性あり
- ステップアップ研修には臨床研修制度上の要件があるので、興味のある方はお問い合わせください



周産期重点協力病院

・小児重点

- ① 成育医療研究センター
- ② 小児総合医療センター
- ③ 土浦協同病院
- ④ 川口市立医療センター
- ⑤ 榊原記念病院
- ⑥ 千葉市立海浜病院
- ⑦ 神経病院
- ⑧ あおぞら診療所うえの
- ⑨ 災害医療センター

・産婦人科重点

- ① 土浦協同病院
- ② 国保旭中央病院
- ③ 大塚病院
- ④ 駒込病院
- ⑤ 木場公園クリニック



研修プログラム責任者メッセージ

プログラムⅠ

プログラムⅠでは1年目は大学病院で、2年目は協力病院で研修します。大学では屋根瓦式の指導体制のもと「きちんと診る」トレーニングを行い、診療に対する医師としての大事な土台を形成します。2年目の協力病院はいずれも地域の第一線の基幹病院であり、多くのCommonな症例や患者さんを担当することができます。専門研修への移行も常にプログラム内で情報発信されていますので2年目も心配ありません。また、大学での2年間連続研修を選択すると、研究や多様なキャリアの経験を積むこともできます。大学医局の多くの上級医には、ロールモデルとなる医師もいるでしょう。さらに、様々な出身大学の同僚との出会いは、皆さんのこれからの医師人生を豊かにするでしょう。1年目に大学病院で医師としての土台形成を考えている方にお勧めのプログラムです。



赤石 雄先生

プログラムⅡ

プログラムⅡは、1年目は協力病院で研修を行います。内科・外科・救急を中心にcommon diseaseを存分に経験することができます。2年目は大学病院で、高度先進医療を担う医療機関ならではの診療を経験し、多彩な選択研修を通じて、将来の進路を見据えた研修を行います。地域医療研修では、プライマリ・ケア領域の専門医の指導のもとで、外来や在宅診療研修を行うことができます。医療過疎地域の地域医療を経験したい方は、秋田大学・島根大学との連携病院での研修も選択したり、社会医学に関心があれば、国立保健医療科学院の研修も選択できます。大学病院では、臨床実習学生や1年目研修医に教えることで自ら学びを深めることができ、学会発表の機会も豊富で、ロールモデルとなる多くの指導医に出会うことができます。専門研修へのスムーズな移行を考えている方にお勧めのプログラムです。



鹿島田 彩子先生

基礎研究医プログラム

基礎研究医プログラムは、将来基礎医学系の研究者を志す方を対象に、臨床研修の修了要件を満たせば、2年目の後半16週～24週までを基礎研究期間とすることが可能なプログラムです。臨床医としての経験は、基礎研究の中に新しい視点を取り入れることも可能であり、また研究を続けていく上でも、臨床研修の経験は皆さんの助けとなるでしょう。本学では大学病院で熱心な指導医のもと、基本的診療能力を身につけることが可能です。また今後は東京工業大学との合併も予定され、両大学の強みを活かした「コンバージェンス・サイエンス」を展開するハイレベルな研究環境で、最先端の基礎研究に従事することも可能です。この新しい機会に、基礎研究者を目指す方は、ぜひ基礎研究医プログラムもご検討ください。



岡田 英理子先生

周産期プログラム

周産期プログラムは、将来、小児科または産婦人科を専攻する研修医のためのプログラムです。小児科重点コースおよび産婦人科重点コース共に、大学病院と多彩な協力病院と連携することにより、様々な専門領域がある各領域において、幅広く診療する一般診療能力と、各専門領域の高度な研修ができる、魅力あるプログラムを用意しております。ステップアップ研修として、小児科重点では小児外科研修、産婦人科重点では婦人科腫瘍、生殖内分泌専門研修など選択することも可能です。小児科および産婦人科という専門領域を目標として研修を始めるため、内科や外科などの研修においても周産期領域に関連する症例を担当することも可能となります。後期専門研修への移行もスムーズに出来るため、将来、小児科ならびに産婦人科を考えている方にお勧めのプログラムです。



若菜 公雄先生

出身大学内訳

全国様々な大学出身者が集うオープンな雰囲気です。

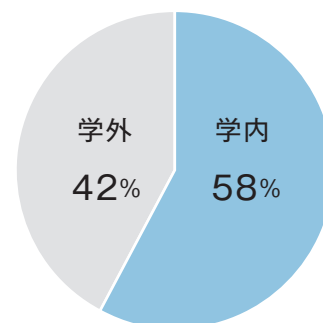
■研修医出身大学(2024採用者)

【プロⅠ・基礎研究】

本学、札幌医科大学、信州大学、群馬大学、筑波大学、福井大学、三重大学、高知大学、島根大学、岡山大学、広島大学、九州大学、長崎大学、岩手医科大学、国際医療福祉大学、昭和大学、東京慈恵会医科大学、東京女子医科大学、東邦大学、日本医科大学、聖マリアンナ医科大学、愛知医科大学

【プロⅡ・周産期】

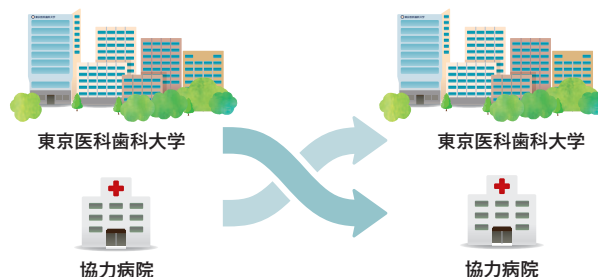
本学、千葉大学、宮崎大学、京都府立医科大学、東京医科大学、日本医科大学、順天堂大学、昭和大学



たすきがけ研修

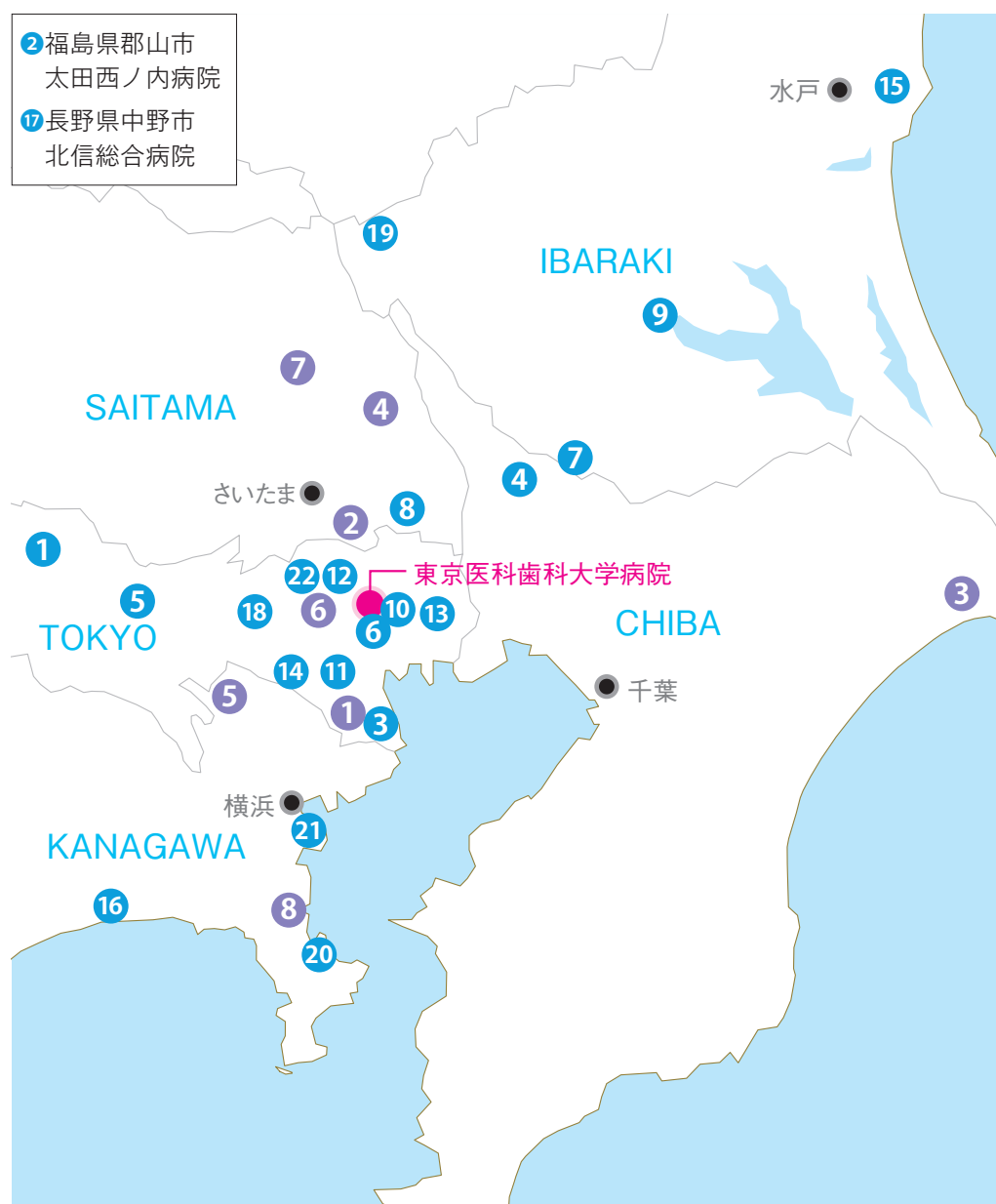
大学病院と協力病院を1年ずつ研修するプログラムを用意しています。協力病院でcommon diseaseや救急疾患を経験し、大学病院では専門診療や先進医療を経験し、研究マインドを醸成することができます。

協力病院は本学との連携も密接で、研修医のフォローアップ体制も万全です。



プログラム協力病院

たすきがけ協力病院はいずれも地域の第一線の中核病院で、臨床研修の人気病院がそろっています。



<プログラムⅠ・Ⅱ>

- ①市立青梅総合医療センター
- ②太田西ノ内病院
- ③大森赤十字病院
- ④柏市立柏病院
- ⑤災害医療センター
- ⑥三楽病院
- ⑦JAとりで総合医療センター
- ⑧草加市立病院
- ⑨土浦協同病院
- ⑩同愛記念病院
- ⑪東京共済病院
- ⑫豊島病院
- ⑬墨東病院
- ⑭日産厚生会玉川病院
- ⑮ひたちなか総合病院
- ⑯平塚共済病院
- ⑰北信総合病院
- ⑱武蔵野赤十字病院
- ⑲友愛記念病院
- ⑳横須賀共済病院
- ㉑横浜市立みなと赤十字病院
- ㉒大塚病院

<プログラムⅡのみ>

- ①荏原病院
- ②川口工業総合病院
- ③国保旭中央病院
- ④秀和総合病院
- ⑤新百合ヶ丘総合病院
- ⑥新渡戸記念中野総合病院
- ⑦蓮田病院
- ⑧横浜南共済病院

大学病院ならではの幅広い診療科選択

がん診療

がんゲノム診療科では、患者さんに対するゲノム解析の適応の判断や最適な薬物療法の選択・遂行などを含む臓器横断的な腫瘍内科学を学ぶことができます。2022年4月には臨床腫瘍科が発足し、薬物療法と免疫療法を最新のエビデンスに基づき積極的に行っています。緩和ケア科では、適切な問診・診察を通して、求められる緩和治療やケアについて学ぶことができます。

大学だからできる
高度な先進医療！

難病診療

膠原病リウマチ、炎症性腸疾患、神経難病、稀少難病などの難病の診療に積極的に取り組む難病診療部の指導医とともに、先端的な診療が経験できます。

医科歯科ならではの！

低侵襲医療

泌尿器科、胃外科、大腸肛門外科では、エキスパートによる最新の手術支援ロボット（da Vinci）によるロボット支援下手術を間近で経験できます。

最新のロボット支援
下手術を経験！

感染症診療

感染症内科での研修では、感染症の的確な診断・治療に加え、感染症対策に関する実践的知識を身につけることができます。

2021年10月新設！
研修医から人気！

救急医療研修

都内屈指の受け入れ体制を持つ救命救急センターでは、内科救急から多発外傷手術も含めた質の高い救急医療を経験できます。2023年度には、新しく完成したC棟へ移転し、最新の装置が揃ったハイブリッドERのシステムにて、研修を行うことができます。当院所有のドクターカーは、多い時で1日6～7件の要請があり、病院前診療の向上に取り組んでいます。

全国救命救急センター評価
令和5年度もS評価獲得！

研修可能診療科・研修関連部門

■ 内科系診療領域	血液内科、膠原病・リウマチ内科、糖尿病・内分泌・代謝内科、腎臓内科、総合診療科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、臨床腫瘍科、緩和ケア科、がんゲノム診療科、遺伝子診療科、感染症内科
■ 外科系診療領域	食道外科、胃外科、大腸・肛門外科、乳腺外科、小児外科、末梢血管外科、肝胆膵外科、心臓血管外科、呼吸器外科、泌尿器科、頭頸部外科、救急科、病理診断科
■ 感覚・皮膚・運動機能診療領域	眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、形成・美容外科／再建形成外科、整形外科、リハビリテーション科
■ 小児・周産・女性診療領域	小児科、新生児集中治療室（NICU）、周産・女性診療科
■ 脳・神経・精神診療領域	脳神経外科、脳神経内科、血管内治療科、精神科、心身医療科、麻酔・蘇生・ペインクリニック科
■ 放射線診療領域	放射線治療科、放射線診断科
■ 特殊診療領域	光学医療診療部、周産期母子医療センター、高気圧治療部
■ 基盤診療部門・診療管理部門等	検査部、手術部、放射線部、リハビリテーション部、集中治療部、病理部、救命救急センター、血液浄化療法部、不整脈センター、快眠センター、スポーツ医学診療センター、腎・膀胱・前立腺がんセンター、みみ・はな・くちのどがんセンター、プレストセンター、低侵襲医療センター、輸血・細胞治療センター、メンタルヘルス・リエゾンセンター、認知症ケアチーム、脳卒中センター、てんかんセンター、アレルギー疾患先端治療センター、先端近視センター、総合教育研修センター、医療連携支援センター、国際医療部

プログラムI

プログラムIでは、1年目のうちに大学病院でカンファレンスなどを通して体系的に academic かつ basic な医学を学び、骨子を形成することができます。また、早期に関心のある科で研修することで医局の雰囲気や自分の将来のイメージが付きやすく、適宜進路の修正も可能です。その上で2年目に市中病院で common disease 含め多くの症例を経験し、自らの技能に肉付けしていくことができます。このように目的意識を持って大学・市中病院両方を経験すればそれぞれの利点を掛け合わせて有意義な研修生活が送れること間違いなしです。何より出身を問わず open-minded な土壌のある医科歯科にぜひいらしてみてください。



岸原 港先生
(2022年度採用)

1年目 大学											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
呼内		膠原病・リウマチ		循内		麻酔		乳腺外		ER	

2年目 武蔵野赤十字病院											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
腎内	血内	神内	放射線	総診	精神	消内	産婦	地域	小児	ER	

1日密着 REPORT

研修医1年目のある1日の研修スケジュール

肝胆膵外科研修

【2021年度採用 プログラムI】

近藤 和樹先生



毎週火曜日の朝は、病棟の全体回診。研修医が教授に担当患者の病状の説明をします

7:50 全体回診



8:15 処置



指導医と術後のドレーン管理などの処置を行います

8:45 業務確認、カルテ記載

13:00 昼食



同期とランチ

14:00 手術(腹腔鏡下胆嚢摘出術)



指導医の監督下で慎重に腹腔鏡を操作します

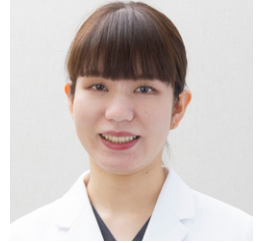
16:30 全体カンファレンス

17:30 チームカンファレンス

18:30 業務終了

プログラムⅡ

プログラム説明会の際に「たすきがけでは環境が変わることで成長できる機会が2回ある」と聞きましたが、そのとおりだと実感しています。1年目の協力病院では、大学までの学習を臨床現場で生かしながら、より実践的な知識や手技を身につけ、次第に出来る仕事の幅も広がっていきました。2年目には大学病院で、志望科の専門的な症例の経験や学会発表、研究にも携わることができました。志望科だけでなく選択科や必修科を含めた全ての科で、患者さんや指導医の先生方、コメディカルの方々など皆さまから多くのことを学ぶことができました。それぞれの方とつながりを持つことができ、医師としてだけでなく人としても大きく成長できたのではないかと思います。このような成長の機会を通して、改めて医師という職業につけて良かったと実感できる魅力的なプログラムだと思います。



白石 美登里先生
(2022年度採用)

1年目 横浜南共済病院

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
呼/血/神内		消/膠内		循/腎/内分泌			救急		麻酔		外科

2年目 大学

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
集中治療	産婦	地域	緩和ケア	脳外	精神	小児	血管内治療	脳内		放射線	ER

1日密着 REPORT

腸管グループで研修中のある1日の研修スケジュール

消化器内科研修

[2022年度採用プログラムII]

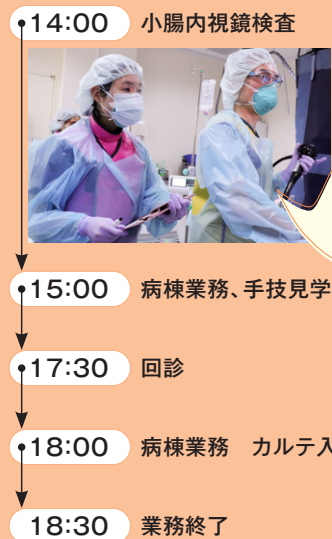
森本 紗生先生



担当患者さんの
病態プレゼン、
質疑応答も
しっかり行います



患者さんの治療方針などを
チームの上級医と相談



検査の介助を
しながら内視鏡
所見の解釈を
学びます

周産期（小児・産婦人科）プログラム

私は学生の頃から小児科医になりたいと決めており、より早期から小児医療に触れる時間を多く持ちたいと考え、小児重点プログラムを志望しました。本学の小児科では各専門グループを全て研修することができますし、ステップアップ研修を利用して自分の希望することも病院などでの研修も行えます。専門性の高い疾患に触れることはとても刺激になりますし、わからないことがあれば上級医の先生方が熱心にご指導くださいます。何でも相談できる先輩や同期、後輩がたくさんいますので、とても心強い環境だと思います。

特に小児科や産婦人科に進むことを既に決めている方には、この周産期プログラムも視野に入れて頂き、ぜひ一度見学にいらしてください。



大鹿 美咲先生
(2021年度採用)

1年目	土浦協同病院										大学	
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
消内			小児外		循内		救急		呼内	小児	精神	

2年目	大学											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
小児					ER	産婦		地域	小児	成育医療センター		

2-3月国立成育医療研究センターはステップアップ研修

基礎研究医プログラム

基礎研究医プログラムは、研究だけでなくあらゆる進路を考えている人におすすめしたいプログラムです。初期臨床研修を始めるタイミングで大学院博士課程にも進学し、卒後4年目にPhD取得を目指します。プログラム修了後の進路の制限を設けていないため、今後の選択肢の幅を広げるためにも最適な選択だと考えます。私は公衆衛生分野に所属していて、1年目は研修のスキマ時間を使って研究データの解析や論文執筆、研究室メンバーとのミーティングを中心に行いました。2年目の選択期間（基礎研究）は、Johns Hopkins University, Bloomberg School of Public Health (米国) に留学し、講義、研究、地域貢献を通じてさらに活動の幅を広げることができました。初期臨床研修のうちから広い視野を持ち、様々な挑戦を可能にする基礎研究医プログラムは大変素晴らしいプログラムだと思います。ご興味のある方はぜひ一度研修センターにリーチアウトしてください！



片桐 碧海先生
(2022年度採用)

1年目	大学											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
麻酔		ER		肝胆脾外		循内		神内		血内		

2年目	大学											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
地域		産婦	麻酔	小児	精神	保健医療行政		基礎研究				

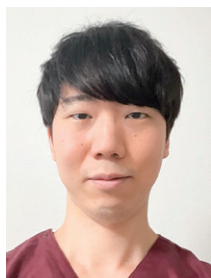
8月小児科は草加市立病院、10-11月保健医療行政は国立保健医療科学院

秋田・島根地域研修

期間8週

対象 プログラムI(2年間大学コース)、プログラムII、周産期プログラム、基礎研究医プログラム**概要** 研修プログラムの2年次に、秋田大学・島根大学との連携協力の元で、公立邑智病院(島根県邑智郡)、市立大森病院(秋田県横手市)で臨床研修を行う

研修医 VOICE

石橋 佑脩先生
(2021年度採用プロII)

公立邑智病院では志望している診療科に関わらず、基本的な臨床能力を養うことができます。研修医は主に初診外来、救急外来、病棟管理を担当します。初診外来では問診、検査、アセスメント、プランを上級医指導のもと行います。来院する患者さんの症候は急性期から慢性期にかけて比較的commonなものから、マダニ咬傷など稀なものへの初期対応も学習できます。外来で診察した入院症例は退院まで担当するので、退院支援や家族への病状説明も研修医が行います。外科志望であれば助手として手術に参加することもできますし、周産期志望であれば出産や乳児健診に参加することもできます。大学とは異なる環境でchallengingに楽しみたい方はぜひ研修してみてください。



公衆衛生研修

期間8週

学内・学外選考あり

対象 プログラムI(2年間大学コース)、プログラムII、周産期プログラム、基礎研究医プログラム**概要** 研修プログラムの2年次に、世界保健機関(WHO)本部(スイス)、WHO西太平洋地域事務局(フィリピン)、厚生労働省、国立感染症研究所での実地研修を行う。

厚生労働省や保健所など、病院以外で医師が活躍している場所に興味があり、公衆衛生研修に参加しました。国立保健医療科学院という専門の施設で、コロナ対策から医師の働き方改革まで様々な問題について講義と実地を交え学ぶことが出来ます。また、厚生労働省やWHO支部(フィリピン)などの実地研修があり、自分自身の視野を大きく広げてくれました。研修には全国の様々な病院から研修医が集まるため、その中での交流も大きな経験の一つです。初期研修中の貴重な2か月間をどう使うか、ということはとても重要なことですが、その価値がある研修だと思います。公衆衛生への興味に限らず、どのような人にもおすすめできる選択研修です。



研修医 VOICE

柳井 健作先生
(2021年度採用プロII)

プロジェクトクォータ

期間8週

学内選考あり

行政・研究・データサイエンス等の多様なキャリアを目指す研修医に、自由研修期間等を提供する

対象 プログラムI(2年間大学コース)**概要** 1年次にプロジェクトを立案し、2年次の自由研修期間等を利用して、プロジェクトに従事する(プロジェクトの選定や実施先との調整は、希望者自らで行う必要あり)

屋根瓦方式

医師が医師を育てるというマインドを大切に、学生・研修医・上級医・指導医がチームを組んで診療を行います。

イブニングセミナー

毎週金曜の夕方に勉強会を開催しています。

学内外の一流講師陣による最先端かつ実践的な贅沢な内容で、日々の研修に役立ちます。



■ 2023 年度年間スケジュール

4月 7日	研修重要情報の紹介
4月 14日	感染症診療を始める前に ～血液培養と針刺し防止対策～
4月 21日	酸素療法について
4月 28日	生体情報モニター
5月 12日	感染症の診かた・考え方
5月 17日	輸液ポンプ実習①
5月 19日	抗菌薬の使い方
5月 26日	胸部X線読影
5月 31日	輸液ポンプ実習②
6月 2日	心電図読影
6月 9日	人工呼吸器ビギナーズ
6月 16日	輸液について／知れば得する泌尿器診療
6月 23日	除細動器研修
7月 7日	患者が重症化したときの気づき方、把握の仕方 ／精神疾患のみかた
7月 14日	災害医療
7月 21日	救急外来でよく見る電解質異常 ／脳神経外科領域における救急画像
8月 4日	身体科医に必要なせん妄予防と治療対策
8月 25日	稀少疾患から学ぶtranslational researchの楽しみ
9月 1日	産婦人科救急／頭部外傷の初期対応
9月 8日	医療安全の事例紹介（医科歯科合同グループワーク）
9月 15日	臨床遺伝について

9月 22日	救急外来やICUにおける血液ガス分析の基本 ／集中治療を要する神経疾患1「てんかん重積」
9月 29日	～もしものときの話し合い～「人生会議」しとこ
10月 6日	画像診断とは？全身性疾患の画像診断を通して学ぶこと。
10月 13日	一過性意識消失へのアプローチ
10月 20日	ギャンブル障害
10月 27日	医療連携と社会支援
11月 10日	研修医のうちに知っておきたい画像診断（頭部）
11月 17日	診療に役立つ医療政策の現在と展望
11月 24日	地域だからこそ効率的に学べることもある
12月 8日	研修医のための胸腹部CTトレーニング
12月 15日	「臨床も、研究も、教育も」を精神医学的に分析する
12月 22日	医療安全の事例紹介（医科歯科合同グループワーク）
1月 5日	子どもの鼠径ヘルニア嵌頓で困らないために ／集中治療を要する神経疾患2「脳炎・脳膜炎」
1月 12日	めまいへのアプローチ
1月 19日	【第1回】病態生理に基づく総合診療をしよう
1月 26日	腹部エコーのハンズオン①
2月 2日	急性期脳梗塞に対する血管内治療の最前線
2月 16日	腹部エコーのハンズオン②
3月 1日	誰でも誰にでも挿入できるPICCのノウハウ ／集中治療を要する神経疾患3「脳卒中」 ／すぐに診療に活かせる論文の読み方
3月 15日	腹部エコーのハンズオン③
3月 22日	【第2回】病態生理に基づく総合診療をしよう

講習会

各種講習会を開催しています。

- BLS、ICLS
- JMECC 講習会
- 緩和ケア講習会
- CVC 講習会



学会、研究会発表

学会・研究会での発表の機会が多数あります。
各診療科で指導医の指導のもと2023年度は44件の発表を行い、
過去3年で下記9名が優秀演題として表彰されました。

杉山 定先生	「関節リウマチに対しアダリムマブ投与中にアレルギー性気管支肺アスペルギルス症を発症した1例」 (呼吸器内科)	医学生・ 初期研修医 セッション 優秀賞
	2021年9月25日 第180回 日本結核・非結核性抗酸菌症学会関東支部学会 第246回日本呼吸器学会関東地方会 合同学会	
朱 理絵先生	「粟粒結核治療中に結核性腹部動脈瘤の増大を認めた1例」 (呼吸器内科)	奨励賞受賞
	2021年10月9日 第672回日本内科学会関東地方会	
小柳 太一先生	「当科における食道癌・食道胃接合部癌に対するNivolumab投与症例の検討」 (消化器外科)	優秀演題受賞
	2021年11月6日 第187回日本胸外科学会 関東甲信越地方会	
高橋 建叡先生	「急速増大する膵頭部腫瘍に対して膵頭十二指腸切除術施行し膵紡錘細胞型退形成癌の診断を得た1例」 (肝胆膵外科)	研修医 Award受賞
	2021年11月20日 第83回日本臨床外科学会総会	
田口 美奈先生	「超音波内視鏡下穿刺吸引法(EUS-FNA)で診断した胃原発滑膜肉腫の一例」 (消化器内科)	研修医奨励賞 第1位受賞
	2022年9月24日 日本消化器病学会 関東支部第371回例会	
岡 瑛子先生	「上行置換術後の慢性期に、人工血管側枝に仮性瘤形成をきたし再手術を行った1治験例」 (心臓血管外科)	優秀賞、発表 奨励賞受賞
	2022年11月5日 日本胸外科学会関東甲信越地方会	
高野 祐二先生	「腹腔鏡下切除術を行った非機能性パラガングリオーマの一例」 (肝胆膵外科)	研修医 Award受賞
	2022年11月24日 第84回日本臨床外科学会総会	
青木 悠先生	SALL4陽性AFP産生胃癌の異時性単発肝転移に対し、肝区域切除が奏功した一例 (病理診断科)	萌芽賞(院長賞) ※東京都立豊島病院の院内選考で 本発表を以って受賞
	2023年11月9日 第69回日本病理学会秋季特別総会	
内田 雄太郎先生	Post-transcriptional regulation of breast cancer stemness by the novel RNA binding protein (システム発生再生医学分野)	RNA2023 Poster Presentation Awards (優秀ポスター賞)
	2023年6月2日 RNA Society 2023 (国際RNA学会)	

研修医室

2023年度リニューアル！

冷蔵庫、電子レンジ、仮眠スペース、Free Wi-Fi、個人用ロッカー、メールボックスなどを完備。

PCでは海外ジャーナルへのアクセスもでき、自己研鑽に役立ちます。

研修医室からWebカンファレンスに参加している研修医も多いです。

仮眠スペースには、リクライニングソファが設置されており、ゆっくり体の疲れをとることができます。



研修医カンファレンスルーム

大画面モニター、壁面全体ホワイトボードがあり、研修医ミーティング、地域医療研修の総括、イブニングセミナー等に利用しています。

その他、研修医同士の自主勉強会、会議等にも活用できます。

Free Wi-Fiが使用でき、Webカンファレンスや勉強会に参加することもできます。



研修医宿舎

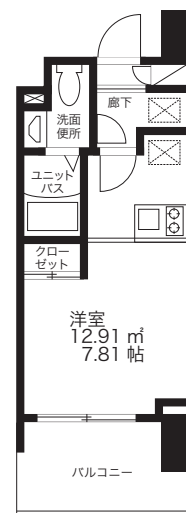
全4棟の借上宿舎があり、いずれも病院から徒歩10～15分です。

都心に位置しているため、スーパーマーケットやドラッグストアなど日常生活には困りません。

休日には観光やショッピングなどで心も体もリフレッシュできます。



宿舎外観



※間取り図例

スキルスラボ

スキルスラボは、中心静脈穿刺、超音波検査や腹腔鏡手術等のトレーニングができる大学病院ならではの充実した多数のシミュレーターを有しています。

24時間いつでも利用でき、手技の確認や上達のために活用できます。



気管挿管



中心静脈穿刺

機能強化棟(C棟)

医歯学の病院機能を効率化し、救急医療と高度先進医療を提供するための機能強化棟であるC棟が2023年10月に完成しました。

C棟には手術台と血管撮影装置(X線撮影装置)を組み合わせたハイブリッド手術室を含む、最新設備・医療ロボットを備えた手術室が導入され、医師臨床研修の時期から、より高度な医療を経験できます。

さらに、ICU・ERも最新設備となるため、救急医療や集中治療についてもより充実した教育環境が整っております。

また、C棟には、カフェやショップ、ギャラリーなどの福利厚生施設スペースもあり、休憩時に利用することができます。その他、丸の内線(御茶ノ水駅)と連絡通路で直結したことで、通勤がさらに便利で快適となりました。



フィットネスルーム

M&Dタワー地下にあるトレーニングジムを利用できます。

利用時間：12:00-21:00(平日のみ)

会費 年会費：12,000円 都度利用：500円



飲食施設

- 生協食堂
- グリルセインツ
- Uエリア (カフェ・ショップ)
- スターバックスコーヒー
- セブンイレブン (24時間営業)
- キッチンカー (病院敷地内に曜日毎に異なるキッチンカーが数台営業しています)



ホームカミングデー

協力病院と大学病院で研修中の研修医が大学に集まり、異なる病院で働く研修医同志の情報交換や交流の機会になっています。秋のホームカミングデーには内定者も招待し、協力病院の研修情報の説明会を行っています。



年2回の個別面談

各プログラムの責任者・副プログラム責任者と年2回個別面談の機会を設けています。臨床研修到達目標の確認や、その他研修で困っていることやキャリアプランについてなど個別に相談に応じており、研修生活のサポートを行っています。

研修医代表委員との定期意見交換会

研修医代表委員を設けており、研修医の要望を拾い上げられるよう、定期的に意見交換会を実施しています。研修医の声を尊重し、更なる研修環境の改善に取り組んでいます。実例として、研修医の意見をもとに2023年度に研修医室を綺麗にリフォームし、新しい冷蔵庫・電子レンジを追加し、浄水器も導入しました。研修医の先生方からも好評です。



最優秀研修医賞

医師としての基本的臨床能力を備え、社会への貢献を意識して行動し、他の研修医や学生の模範となる研修医を表彰しています。2年間の研修を指導医やコメディカル、研修医、医学生など、様々な視点から総合的に評価し、2023年度は以下の先生方が表彰されました！

岡瑛子先生（プロⅠ）、岸原港先生（プロⅠ）、
古野秀裕先生（周産期プロ）、澤口圭宏先生（プロⅡ）、
若松理香子先生（プロⅡ）、鬼頭知之先生（プロⅡ）



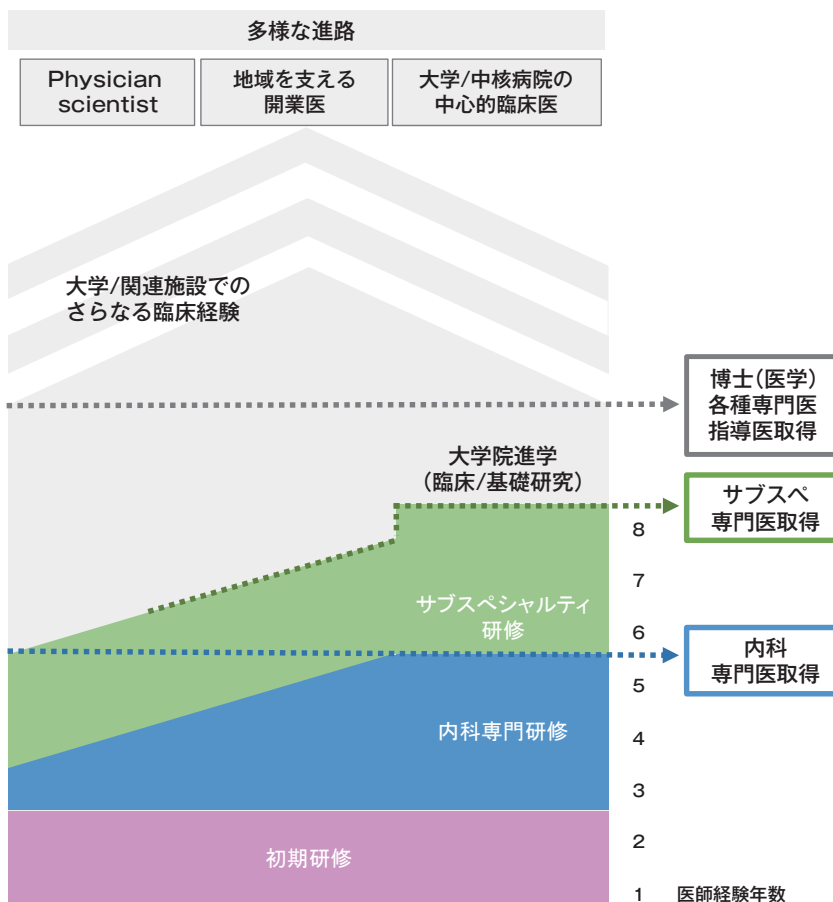
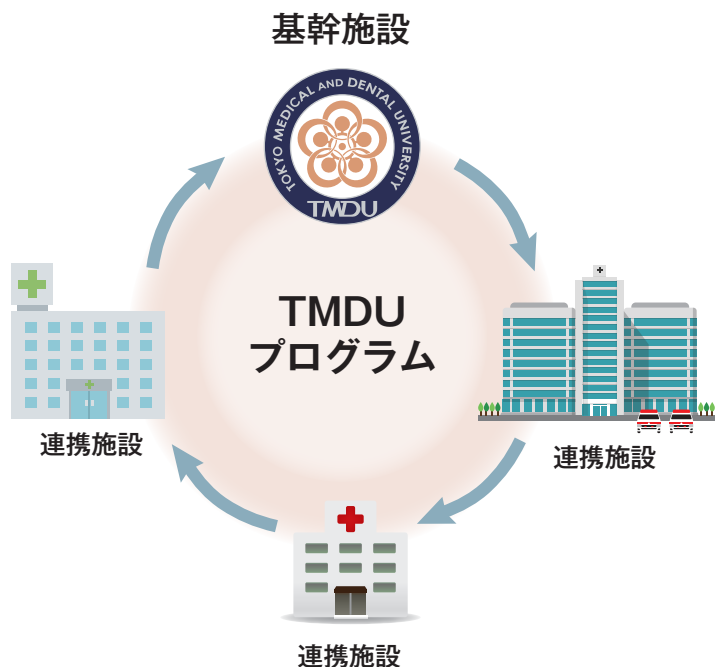
内科専門研修プログラムの場合

2018年から開始となった新専門医制度における内科専門医取得には、医師臨床研修後3年間の研修期間を通じて、日本内科学会が定める56疾患群以上かつ160症例以上の症例経験と指導医からの承認、JMECC（日本内科学会認定内科救急・ICLS講習会）受講、学会発表、その他の修了要件を満たした上で内科専門医試験を受験し合格する必要があります。

特に症例経験や病歴要約は計画的に行うことが重要となりますが、一定の基準を満たせば医師臨床研修中の症例も80症例まで登録可能であるため、東京医科歯科大学医師臨床研修プログラムを通じて大学病院・連携病院で日本内科学会指導医のもと内科全般の研修を着実に行うことで、医師3年目以降にサブスペシャリティにより重点を置いた専攻研修を行うことが可能となります。

また、当院では、修了要件のひとつであるJMECCを定期的を開催しており、医師臨床研修中より受講が可能です。当院ならではの豊富な臨床経験を持つ熱心な指導医の適切な指導の下で、仲間と切磋琢磨し、充実した研修をより効率的に行うことができます。

また、専門医取得のその先を見据えたキャリアパスを選択できることも当院の強みです。大学病院でサブスペシャリティを極める、大学院に進学して研究に没頭する、関連病院で臨床経験を積み地域を支えるなど、個人個人の理想の医師像を目指すための希望に可能な限り沿えるようサポートします。



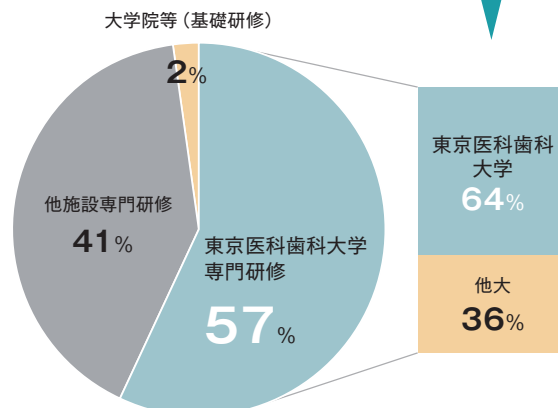
臨床研修後の進路

大学院・臨床/研究留学へとスムーズに進めます

多くの方が、医師臨床研修に引き続き東京医科歯科大学の専門研修プログラムに進まれます。

医師臨床研修の間から進路先の診療科で研修したり、スタッフと交流を持つことで、専門研修への移行もスムーズです。

臨床診療、基礎研究、臨床研究、厚労省の医系技官等、様々な分野で活躍する医師との出会いを通じて、ロールモデルを見つけて自分自身の将来について考えることができるのも、本学の医師臨床研修プログラムの醍醐味です。

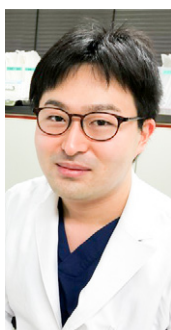


先輩医師にインタビュー



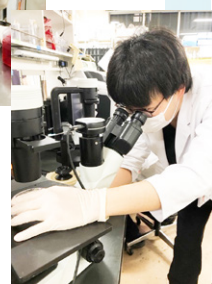
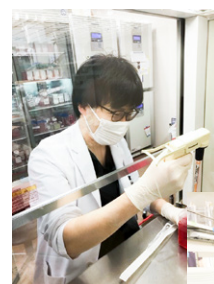
救急科 朝田 慎平先生 / 2015年度採用プログラムⅠ

医科歯科での研修は、たすきがけ制度、様々な大学出身者の存在、都心の好立地などなど、非常に多くの魅力があります。さらに大学病院研修の最大の強みは、多くの上級医と関わり、その考え方を学べる点であると思っていますが、優秀な先輩先生方がとりわけ多く存在する当院は大学病院の中でも頭一つ抜けた存在ではないでしょうか。また研修先を選ぶにあたって、救急研修の質は多くの方が重視したいポイントであると思われます。当院の救命救急センターは外来診療から自科での手術、ECMO 管理などを含めた集中治療を経て、最終的に退院まで一貫した診療を行っているという大きな特徴があり、私自身ここでの研修が充実したものであったということが、当初は進路として検討していなかった救急科に入局した理由の一つです。現在は診療リーダーとして臨床に携わっていますが、自分が感じる医療の面白さ、奥深さをこれから来る研修医の皆さんに伝えていけるよう頑張っていきたいと思います。



消化器内科 稲田 賢人先生 / 2017年度採用プログラムⅡ

私はプログラムⅡを選択し、1年目に協力病院で実践力を磨き、2年目には大学病院に戻り改めて腰を据えて診療を行いました。学会発表も複数回経験し、2年間でバランス良く医師としての基礎力を養うことができたと感じます。そして、尊敬できる多くの教育的な先生方にご指導いただいたこの環境で引き続き研鑽を積みたいと考え、当院の消化器内科に入局し、内科専門研修を開始しました。主治医としての役割を求められる中で、当院の初期研修プログラムで主体的に学んだ経験が生きたと思います。初期研修と専門研修の両方を通じて研修センターの皆様が手厚くサポートしてくださり、特に新専門医制度に関わる情報を随時連絡いただけたのは非常に助かりました。おかげさまで内科専門医を無事に取得し、現在は大学院に入学し基礎研究を行っています。現代医学で未解決の課題に取り組むことの難しさや面白さ、奥深さを感じながら、充実した毎日を過ごしています。



身分	非常勤職員（臨床研修医）	宿 舎	全 86 戸（前年度より 4 戸増） 借上宿舎（単身用）家賃：50,000 円 / 月 ※宿舎利用に際して個別の規程あり 1 年次当院で研修を行う者は全員入居可 2 年次当院で研修を行う者については空きがあれば入居可
給 与	平均 300,000 円 / 月（2023 年度実績 手当等含む） 時間外手当：有 通勤手当：無 賞与：無 診療夜間看護等手当：15,000 円 / 回	健康管理	定期健康診断：年 1 回 保健管理センター：随時
社 保	健康保険 厚生年金 雇用保険（労災適用あり）	その他	アルバイト：禁止 本学附属図書館利用：可 学内 PC で文献検索：可能 学会への参加：可（参加費支給：無）
休 暇	有給休暇：13 日 その他：本学規定の無給休暇：有		

研修医選考試験要項

募集人員	94 名
試験内容	書類選考後、筆記試験・面接試験（対面）
応募資格	医師臨床研修マッチングに参加しマッチングIDを有する者
試験日程	2024年8月12日（月・祝）、14日（水）、23日（金）
応募方法	https://www.tmd.ac.jp/med/cpe/clinical-training/adoption.html

6月	7月	8月	9月	10月
6日	10日	1日	12日	10日
14日	下旬	12日	26日	24日
		14日	27日	
		23日		
マッチング参加登録開始	書類選考結果および 筆記試験・面接試験日程通知	マッチング参加登録締切	マッチング希望順位登録 中間公表前締切	マッチング希望順位登録締切
選考試験応募受付開始	選考試験応募締切（必着）	第一回研修医選考試験	マッチング希望順位中間公表	マッチング組合せ結果発表
		第二回研修医選考試験		
		第三回研修医選考試験		



東京医科歯科大学病院

TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY HOSPITAL

※ 2024年10月1日より東京科学大学病院に名称を変更します



E-mail



HP



Facebook



X



YouTube

東京医科歯科大学病院 総合教育研修センター

〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45

TEL : 03-5803-4581 FAX : 03-5803-0110